

最終試験結果の要旨	
学位申請者 氏名	Nambooze Joweria
審査委員	主査 佐賀大学 教授 稲岡 司
	副査 佐賀大学 准教授 藤村 美穂
	副査 鹿児島大学 教授 秋山 邦裕
	副査 佐賀大学 准教授 上野 大介
	副査 琉球大学 教授 仲間 勇栄
審査協力者	
実施年月日	平成26年 1月24日
試験方法（該当のものを○で囲むこと。） <input checked="" type="radio"/> 口答・筆答	
<p>主査および副査4名は、平成26年1月24日の公開審査会において、学位申請者に対して学位論文について説明を求め、その内容および関連事項について試問を行った。具体的には別紙の質疑応答がなされ、いずれも満足できる回答を得ることができた。</p> <p>一方、当該論文の内容を慎重に検討した結果、本学位論文は、農学・人類生態学・公衆衛生・農村社会学等の学際的領域等の分野に該当するため、申請者には博士（学術）の学位の授与が適当と判断した。</p> <p>以上の経緯から、審査委員会は申請者が博士（学術）の学位を受けるに必要かつ十分な学力ならびに知見を有すると認めた。</p>	

学位申請者 氏名	Nambooze Joweria
<p>[質問1] 調査対象者はどのように選定したか。</p> <p>[回答1] 調査地周辺では年齢別に記録された住民の統計はなく、また住民の出入りも激しい。そのため、村長とヘルスポランティアを通じて、調査時点で村に滞在するすべての子供、高齢者に協力を依頼した。</p> <p>[質問2] 高齢者の栄養状態に関するデータについて、測定項目と質問紙による質問（主観的判断）の内訳はどのようになっているか。</p> <p>[回答2] Mini nutritional assessment, DETERMIN your nutritional health checklistを用いて栄養状態を評価したが、その中で測定したものは、身長・体重（及びそれらから計算したBMI）及び上腕囲である。体重減少、食慾、病気（体調不良）の有無、歯の状態、食事形態などは、本人に質問して調査した。</p> <p>[質問3] 少数民族の調査の際、コミュニケーションはどのようにして行ったのか。</p> <p>[回答3] 英語からラオス語（国立公衆衛生研究所スタッフ）、ラオス語から現地語（現地のヘルスポランティア、村長など）の二重の通訳を介して行った。質問紙はあらかじめラオス語に翻訳したものを用いた。</p> <p>[質問4] 調査期間はどれくらいかかったのか。</p> <p>[回答4] 調査には5年続けて毎年2回程度行ったが、一回の調査で1か月程度滞在した。身体測定を行い、健康状態を聞くための信頼関係を築くためにも時間を費やした。また、村落生活の実情を知るために数度のグループディスカッションを行い、それをもとに調査を行った。</p> <p>[質問5] 子供や高齢者の栄養状態と関連する要因としては、経済状態も大きな影響を与えていると考えられるが、この調査では経済状態のデータがとりあげられていない理由は何か。</p> <p>[回答5] 少数民族の主な生業は農業であるが、ほとんどが自給的農業であり、現金が必要なときに家畜を販売する程度である。また、現金収入源として最も大きいゴム農園でのパートタイム労働による収入は、労働時間に応じて時給で支払われるものであり、農閑期を中心に行われるため、月平均や年平均を計算することが困難であるため、今回はデータとして使うことができなかった。次回は経済状態を指標化するための工夫を試みたい。</p> <p>[質問6] 高齢者の栄養状態を下げる要因として、病院へのアクセスが悪いことが指摘されているが、その内容について詳しく説明してほしい。</p> <p>[回答6] 少数民族の居住地は道路条件が悪いため病院に行くまでに時間がかかるだけでなく、少数民族の高齢者は病院に行っても言葉が通じない（病院では公用語であるラオ語が用いられる）ため病院に行くことを躊躇する傾向があるためである。</p>	

[質問 7] 少数姻族のフードタブーが高齢者の栄養状態に影響を与えている理由は何か。

[回答 7] 少数民族のBrau族では、フードタブーが栄養状態と負の関連を示していたが、これは、ラオスの農村居住者にとって魚は一年をとおして簡単に手に入るタンパク源であるが、Brau族にのみ、魚をタブーとする習慣があったためだと考えられる。

[質問 8] 家族のサイズが大きいほうが子供の栄養状態を悪くしている理由が何か。

[回答 8] 水田の面積や、現金収入を得るための労働時間は限られているため、子供の数が増えることは全体の食物量の低下を意味するからである。

[質問 9] 長期間にわたる現地調査を積み重ねて得られた結果であるのだから、自分の研究の位置づけをより明確にするように工夫して先行研究をまとめたほうがよい。

[回答 9] 自分の研究の位置づけを明らかにするよう、論文を訂正する。